

中学校部活動の地域展開

個人と社会のWell-beingを目指して ～千曲坂城クラブの取り組みから～



制作者 坂城中学校 3年 山崎 暖斗

〈デザインの趣旨〉

「CSC」のまわりの星は、千曲市・坂城町の小・中学校の数を表しています。小さい星が小学校、大きい星が中学校です。中央にある3本の波線は、千曲市と坂城町をつなぐ千曲川を表しています。千曲川の上に描いた千曲市と坂城町を一つにした地図で、市と町の一体感を表現しています。

前千曲坂城クラブ事務局 総括コーディネーター
山根 義夫



— 部活動地域展開を進める上で踏まえないこと —



これからの時代～Society5.0の社会～ VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代
多様化の時代 ↓ 少子高齢化の時代



未来への不安、人間にとって何が大切か見失う時代
東日本大震災2011 3.11 能登半島地震2024 1.1



人間にとって何が大切かを気づかせてくれた！
絆・コミュニティ・つながりが人を救う 未来を創る！



「地域の子どもは学校を含めた地域で育てる」
「絆・コミュニティ・つながり」を育む
素晴らしい取り組みが今までもたくさんあった
⇒部活動の地域展開も同じと捉えている！



千曲市の将来像の具現(第三次千曲市総合計画)

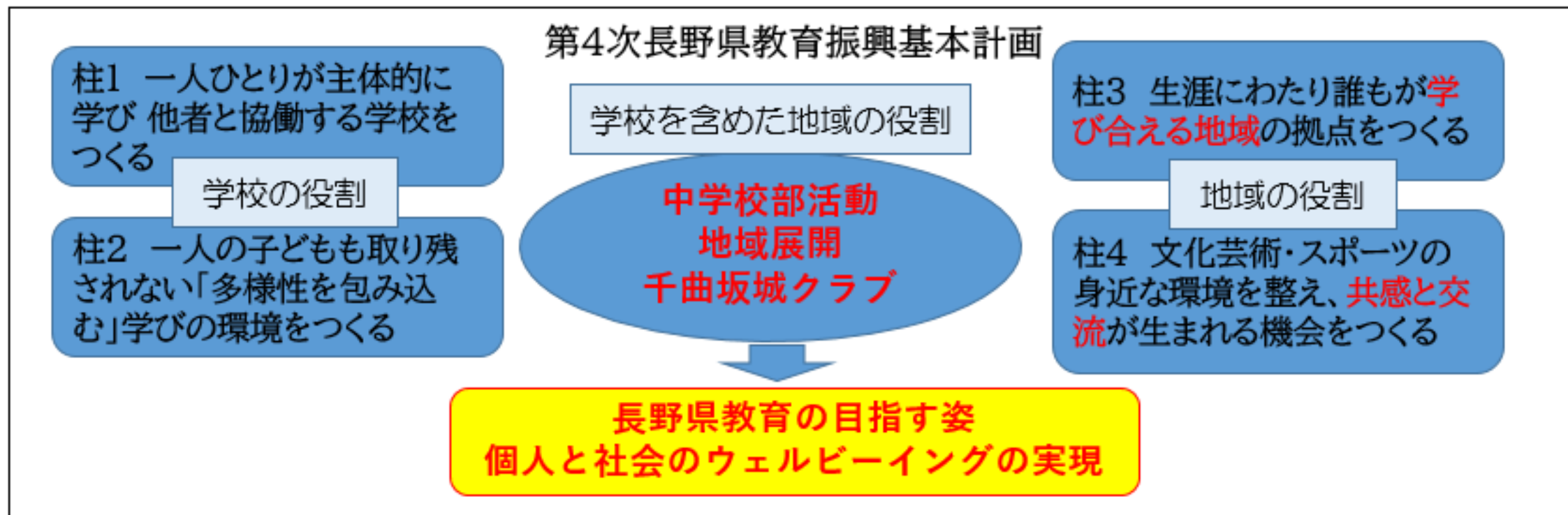
人をてらす 人をはぐくむ 人がつながる 月の都～文化伝承創造都市 千曲

— 地域展開の考え方 —

部活動の地域展開 📌 「地域の子どもは学校を含めた地域で育てる」を共通理解する必要



「学校の役割」 「学校を含めた地域の役割」



「部活動の地域展開」は、「学校の役割」 「学校を含めた地域の役割」を明確にし、
地域全体で新たな子どもたちの環境を構築していく取り組み

地域展開は手段
目標・目的は
何か

中学校部活動の地域展開「千曲坂城クラブ」⇒手段

すべての子どもたちにスポーツ・文化芸術活動を保障する⇒目標

すべての子どもたちにとって豊かなスポーツ・文化芸術環境が整う

教職員の専門性が高まり質の高い学校教育が提供できる環境が整う

地域社会と学校が連携・協働した持続可能な活動体制が整う(地域の子どもは学校を含めた地域で育てる)
「新しい公共」＝当事者(子ども・保護者・学校・地域・NPO・企業・行政等)の協働の場
お互いを気遣い、人の役に立ちたいという気持ちで、地域の課題に対し、それぞれができることをする

人間にとって大切な「絆・コミュニティ・つながり」を育み
個人と社会のウェルビーイングの実現⇒目的

— 部活動地域展開の背景 —

これまで部活動は、**学校教育の一環**として行われ、中学校教育の中で大きな役割を果たすと同時に、我が国のスポーツ・文化芸術の発展を支えてきた。

⇒ 生徒の多様な学びの場、そして活躍の場

⇒ 人間形成を図る教育的意義の大きさ

しかしそれは、教職員の善意と熱意、献身的な努力によって支えられてきた！

課題1 生徒・保護者の多様なニーズ

課題2 少子化に伴い部が成立しない

課題3 教職員の献身的努力から生じる課題

☞ **学校だけでは解決できない！**

☞ **持続可能なスポーツ文化芸術環境を構築する必要がある！**



令和2年9月 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 文部科学省・スポーツ庁・文化庁

令和4年6月 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言 スポーツ庁

令和4年8月 文化部活動の地域移行に関する検討会議提言 文化庁

令和4年12月 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

文部科学省・スポーツ庁・文化庁

令和7年12月 部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン

文部科学省



部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

国の方針⇒地域の実情に応じて

運営団体・実施主体(例)→総合型地域スポーツクラブ・民間事業者・競技団体・文化芸術団体・プロスポーツチーム等

千曲市・坂城町＝自治体の責任として

— 千曲坂城クラブの概要 —

千曲坂城クラブ基本理念

すべての子どもたちにスポーツ・文化芸術活動を保障する

⇒部活動は、今まで「学校教育活動の一環」として位置づけられ、子どもたちの成長に大きな役割を担ってきたことを踏まえ、自治体の責任で地域へ展開する「千曲坂城クラブ」を設立運営する。

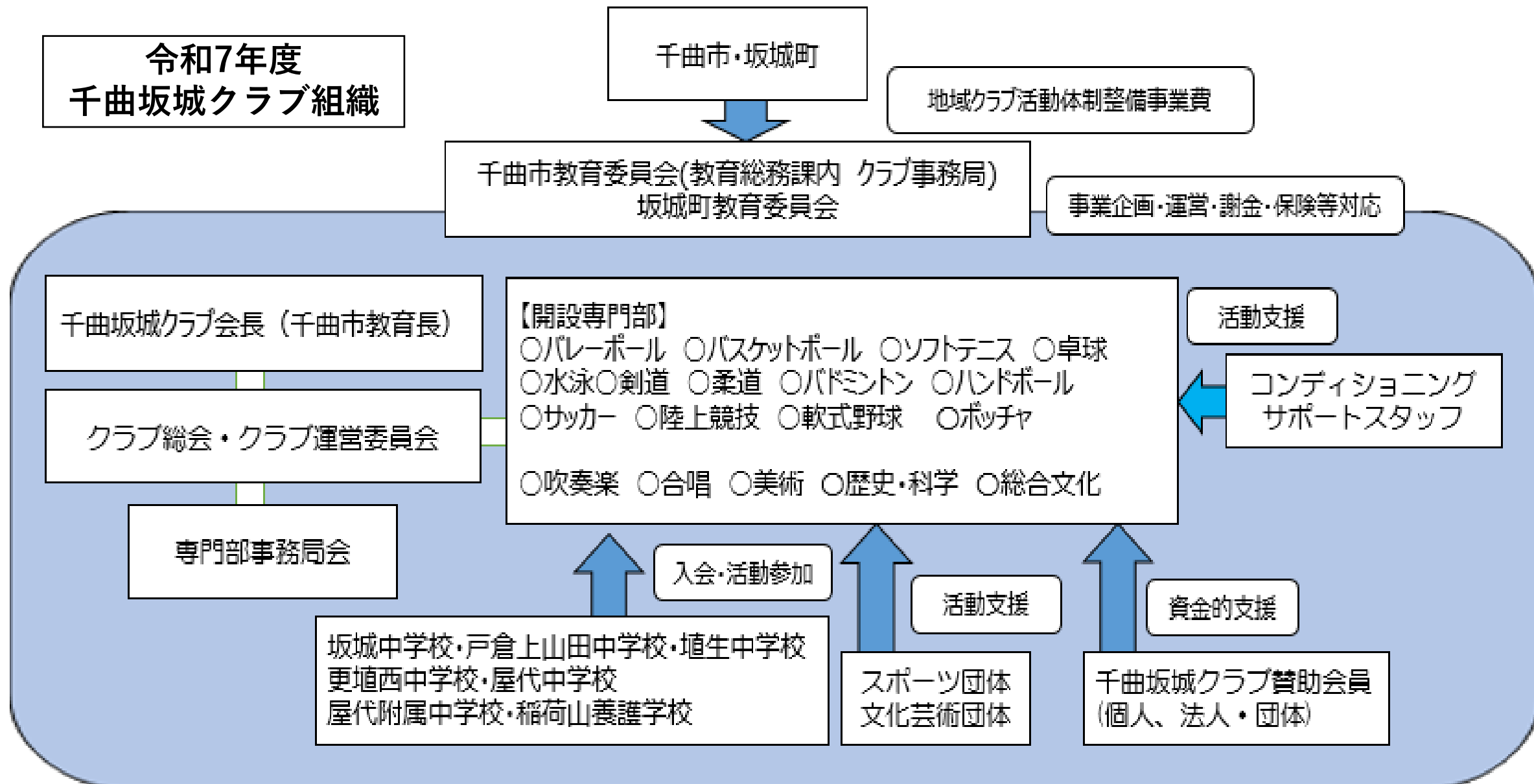
⇒千曲坂城クラブは、「地域の子どもは、学校を含めた地域で育てる（学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン スポーツ庁・文化庁）」共通意識の下、運営する。

⇒千曲坂城クラブは、第4次長野県教育振興基本計画に基づき「個人と社会のウェルビーイングの実現」を目指し、「生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる」「文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる」ものであること。

⇒千曲坂城クラブは、「やりたい」「やってみたい」子どもたちが、家庭の様々な状況に左右されることなく、参加できるクラブを目指すこと。

👉
未来を創っていくのは子どもたち～その子どもたちに必要な資質・能力を育む環境を整えるのが大人(学校を含めた地域)の役割





※坂城中(大峰班)戸倉上山田(つばさ班)埴生(おおとり班)更埴西(田每班)屋代(杏苑班)屋代附属(鳩班)稲荷山養護(稲養班)

安心・安全を保障し信頼あるクラブへ
コンディショニングサポートスタッフ
体罰・ハラスメント相談窓口

コンディショニングサポートスタッフ
指導者研修の講師
各専門部での研修講師

コンディショニングサポートスタッフ

※名簿は五十音順

No.	氏名	資格等
1	安藤 優也	柔道整復師
2	市川 能人	内科医
3	小岩 茜	柔道整復師
4	小岩 海	外科医
5	兒玉 淳子	学校心理士
6	土田 昌子	管理栄養士
7	福田 菜津子	公認心理師
8	松川 佐知子	管理栄養士
9	松永 大吾	外科医
10	松林 豊	柔道整復師
11	宮澤 君衣	フィットネストレーナー
12	安川 幸廣	外科医
13	吉松 俊紀	外科医

体罰・ハラスメント相談窓口

千曲市教育委員会教育総務課内 千曲坂城クラブ事務局
〒387-8511 千曲市杭瀬下二丁目1番地

電話 026-273-1111 内線 4101
Fax 026-273-8787
Mail kyoiku@city.chikuma.lg.jp



令和7年度 千曲坂城クラブ指導者研修会

「食物アレルギー」と「成長期の体づくり」

- クラブ活動で発生しうる食物アレルギー
- 体づくりにスポーツ栄養を取り入れて



千曲市教育委員会
管理栄養士 松川 佐知子

病態栄養専門管理栄養士、日本糖尿病療養指導士
日本スポーツ栄養学会 所属



賛助会員について

クラブ運営は、生徒からの年会費と市町からの補助金賄われています。年会費については、家庭の経済状況でクラブへの参加を見送られることがないよう、現在3千円としています。市町から補助金をいただいておりますが、市町の財政も大変厳しい状況となっています。

クラブ運営には、指導者への謝金をはじめ消耗品、備品等の購入、平日の活動場所への移動費用、大会への参加費用等、今後も多くの費用が必要となります。

保護者の負担を少しでも軽減し、スポーツ・文化芸術活動をすべての子どもたちに保障し、持続可能なクラブとしていくために、

クラブへの資金的支援をしていただく方(個人・法人・団体)が「賛助会員」となります。

賛助会員の手続き・年会費等

- 1 別紙「千曲坂城クラブ 賛助会員規約」を確認のうえ、別紙「賛助会員申込書」をご提出ください。

[郵送先] 〒387-8511 千曲市杭瀬下二丁目1番地

千曲市教育委員会 教育総務課 千曲坂城クラブ事務局宛

[FAX] 026-273-8787

- 2 年会費 ※何口でも結構です

○個人年会費 1口 1,000円

○団体・法人年会費 1口 5,000円



- 3 納入方法

○銀行振込⇒下記の口座へお振込みください。

八十二銀行 屋代支店(285) 普通預金 口座番号677289

口座名義: 千曲坂城クラブ(チマカキクラブ)

※大変申し訳ございませんが、振込手数料は賛助会員の方のご負担になりますのでご了解ください。

⇒賛助会員の手続きをされた翌年以降は、5月初旬に賛助会員年会費納入のお願いをしますので、よろしくお願ひいたします。

あなたの一口が 部活動に代わる中学生の
新しいスポーツ・文化芸術環境をつくります!

ふるさと納税～スタート



指導者は地域の方が担います

- ・指導者は「**スポーツ・文化芸術活動を通して中学生の健全育成に寄与する志がある方**」にお願いします。
- ・教職員でクラブ指導を希望する場合は「**兼職等承認願**」を提出し、承認を得ることで指導者になれます。**※78名 32%**
- ・指導者は全員「**指導者登録届**」をクラブ会長へ提出します。
- ・指導者には、予算の範囲で謝金を出します。また予算の中から、スポーツ安全保険に加入していただきます。
※クラブの成否を決める課題の一つは「指導者の確保」

⇒ **令和7年度250名 教員78名 有資格者67名**

※令和5年度 クラブ設立時 183名 令和6年度 244名



指導者の希望があった場合

希望者



各学校の顧問の先生



専門部の代表・事務局



千曲坂城クラブ事務局



「指導者登録届」提出へ

千曲坂城クラブ 指導者登録届

千曲坂城クラブ会長 様

私は、下記の指導者規定に同意し、千曲坂城クラブの指導者になることを申請します。

千曲坂城クラブ指導者規定

- 1 スポーツ・文化芸術活動を通して、青少年の健全育成に寄与する志をもって指導にあたること。
- 2 活動するにあたり、下記(1)～(4)に留意し指導すること。
 - (1) 生徒の人間性や人格を尊重し、体罰、暴言等の人権を損なう行為が決しておこらないよう指導に当たる。
 - (2) 単に技術的な向上を目指すだけでなく、人としてのマナーや礼儀、仲間との協調性、おぼり強く目的に向かって努力する姿勢など、スポーツや文化芸術活動を通して良き社会人として生きる力を育む場となることを目指して活動を進める。
 - (3) 活動は、参加者の安全・健康を第一に考え、活動内容に十分留意して行い、安全や健康維持の確保が不十分な練習や過負荷な練習によるけが等、健康を害することがないように十分に配慮して活動を進める。
 - (4) 活動する施設の開放・施設、清掃等の整美は、指導者の責任で行う。活動に使用する備品の管理も指導者が行う。
- 3 中学校に部活動がある活動においては、部活動顧問と指導の方向性や練習計画など情報交換を密に行い、連携した指導となるよう努めること。
- 4 活動の専門性及び、中学生の指導者としての専門性を高めるよう研修に努むこと。
- 5 上記の指導者規定に反し、千曲坂城クラブの趣旨から逸脱した指導を行う指導者については、運営委員会の承認を得て、指導者登録から削除することもある。

氏名 _____ 印 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日 _____

住 所 _____

連絡先 _____

資格の有無 無・有() _____

※個人情報は、クラブ運営のみに使用し、情報の管理を徹底します。

千曲坂城クラブ設立に伴い、地域指導者(教職員を含む)による指導がスタートしました。**生徒たちの安心・安全を確保**していくことはもちろん、よりよい活動にしていくためには**指導者の力量を向上**させていくことが必要です。また**保護者・地域の方々からより信頼を得ていくためにも指導者としての絶え間ない研修が求められます。**

つきましては、指導者研修を実施しますので受講をお願いいたします。指導者の皆様の負担を軽減するために、オンラインによる研修としますのでご了解ください。

なお、**千曲坂城クラブ規約第16条2 「地域指導者は、クラブが勧める研修会に参加するよう努めるものとする。」**と規定されています。

令和7年度 オンライン指導者研修

研修内容(予定) ※研修テーマは仮となります。研修No.(順番)は講師の都合で前後があります。

- 研修1 これからの指導者に求められること
講師 長野県教育委員会保健厚生課・学びの改革支援課指導主事
- 研修2 心配蘇生法と熱中症予防について
講師 戸倉上山田消防署
- 研修3 思春期のころとからだ
講師 公認心理師 教育相談室
- 研修4 食物アレルギーとアナフィラキシーショックについて
講師 管理栄養士 松川 佐知子
- 研修5 ストレッチ体操について
講師 フィットネストレーナー 宮澤 君衣
- 研修6 千曲坂城クラブに期待すること
講師 長野俊英高校 校長 荒木 博明
// 野球部監督 小林 正具
- 研修7 発達障害の理解とその指導について
講師 坂城町教育委員会教育コーディネーター 宮坂 正
- 研修8 いじめを見逃さないために
講師 学校心理士 兒玉 淳子

これからの指導者に
求められること



長野県教育委員



⇒昨年度は、のべ約700名(3月末現在)が受講。今後、より多くの指導者が受講していくよう呼び掛けていく。

思春期のころとからだ

～思春期を理解し、子どもを支える～

公認心理師 福田 菜津子

千曲坂城クラブ運営委員会～年3回予定 様々な課題を検討

⇒クラブ運営委員に郡PTA代表・**生徒代表**・教員以外の指導者・パラスポーツ指導者・総合型地域スポーツクラブ指導者を委嘱 **※保護者・生徒を入れることが大事**



運営委員会

- 委員長 青木 幸雄(千曲市吹奏楽団)
- 副委員長 柄澤 俊彦(坂城町公民館長)
- 堀口 潔(バレーボール専門部代表)
- 委員 五十嵐 健二(卓球専門部事務局・連盟)
- 小林 京子(ポッチャ専門部代表・協会)
- 中村 勝(剣道専門部事務局・坂城中)
- 太田 幸夫(軟式野球専門部事務局・西中)
- 竹腰 益臣(吹奏楽専門部事務局・埴生中)
- 柳澤 正寿(更埴校長会代表・屋代中)
- 仲 弘久(前更埴中体連事務局・戸上中)
- 梶浦 麻依子(郡PTA代表・埴生中学校)
- 東海 洸希(生徒代表・埴生中学校)
- 宮本 実咲輝(生徒代表・更埴西中学校)

令和7年度 クラブ概況 R7.12月現在

■会員数 1,114名 スポーツ系869名 文科系245名

■指導者数 250名

教職員78名(兼職等承認願い提出者) 有資格者67名

20代36名 30代42名 40代55名 50代63名 60代43名 70代11名

■会費 年3,000円(保険代800円含) ※来年度 年会費3,000円(保険代800円含)
活動時間応じて月会費 上限3,000円

■指導者謝金 令和7年度 1時間1,000円 1日3時間3,000円が上限

※令和6年度まで 1時間900円 1日3時間2,700円が上限

教員の特殊業務手当と同額

■予算の範囲内で旅費の支払い

■市町の施設 100%減免措置

■賛助会員 R7年度 1,084,000円

法人・団体41件 個人139件 ※R6年度 1,022,000円

■ふるさと納税 ※R6年度 1件 ■寄付 ※R6年度 2件



ボッチャ専門部の様子から ～稲荷山養護学校との連携～



～共生社会の実現～



この体育館で行われていることが本当の「共生社会」。部員たちが大人になって、この光景を思い出してほしい。

～ボッチャ専門部指導者の言葉～

歴史・科学専門部の様子から ～古墳館との連携～



地域貢献～歴史科学専門部に
続こう！ クラブだよりから

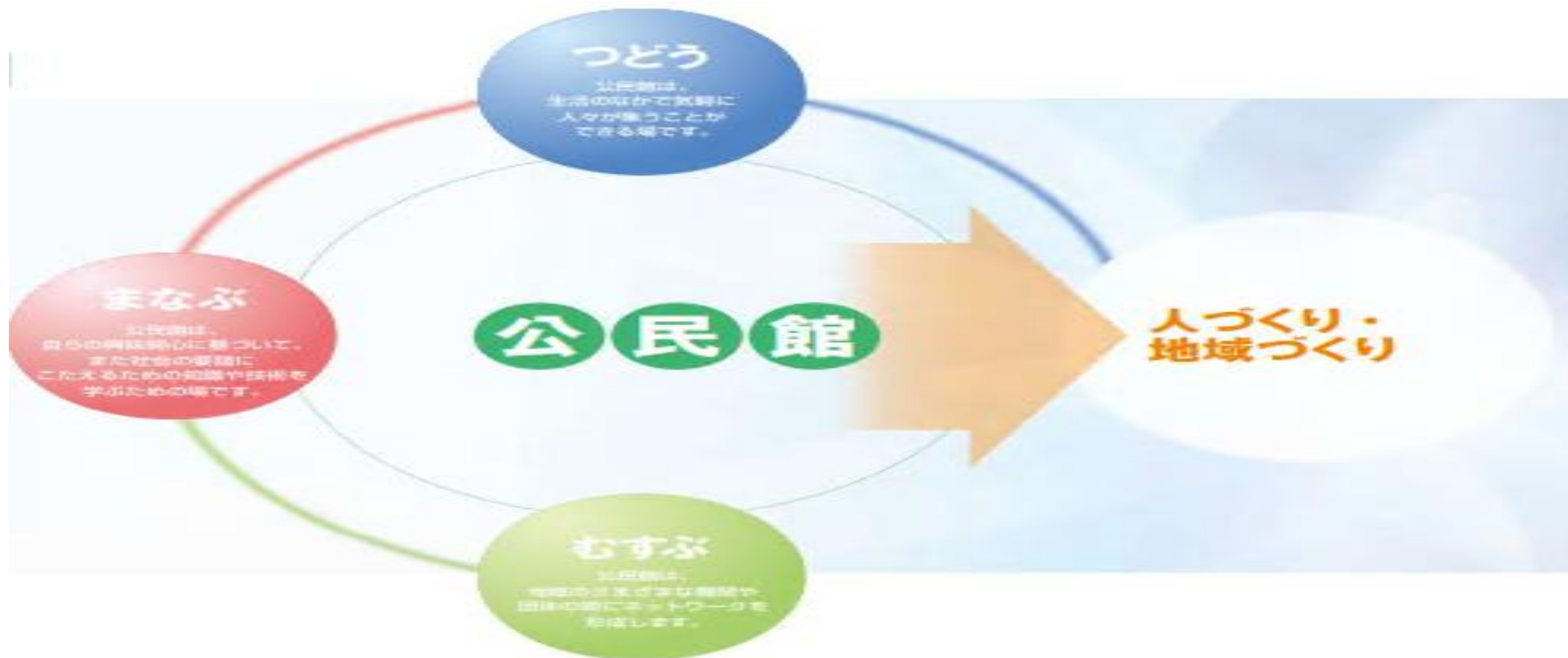
先日、歴史・科学専門部の仲間が、森將軍塚で行われた草取りに、地元ボランティア「友の会」の皆さんと一緒に参加しました。この草取りは100回を迎え、約30年続く活動です。たくさんの方の古墳に寄せる熱い思いに触れることができたということです。中学生が参加し皆さん喜んでくれたそうです。地域に貢献する活動をぜひどの専門部も実践していきましょう。

いろいろな個性を持った子どもたちが、生き生きと活動している。最初は、緊張していた子どもたちも活動を通して、和気あいあいになっている。ここが一つの居場所になっている。きっと学校生活では、見れない笑顔があるのではないか。自分たちの活動や学んだことをどんどん自分たちで発信していくクラブ、そして社会の経済活動の一環も経験させていきたい。

～歴史科学専門部指導者の言葉～



総合文化専門部の様子から ～公民館との連携



公民館活動の目標と千曲坂城クラブの目標は共通している

公民館は、住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献しています。

*公民館は、法律に基づいた、社会教育施設です。
国々の「社会教育 (social education)」は、「成人教育 (adult education)」、「コミュニティ教育 (community education)」及び子どものや青少年に対する「学校外教育・ノンフォーマル教育 (non-formal education)」を包含する。

総合文化専門部

活動予定紹介

活動時間は 1 時間半～2 時間程度です

	教室名	活動内容	曜日	講師	およその必要経費	曜日 時間	実施予定日（変更になることがあります）
戸倉 創造館	茶道 ①	自分でお茶を点ててみましょう。 おいしいお菓子とお茶も楽しみ。	15	飛田 民子	抹茶・お菓子代 500円	土曜日 13:30～	5/22 8/17 9/21 10/19 11/30 12/14 1/18
	木彫り	彫刻刀で木彫りの作品を彫ろう。	10	谷井 一雄	材料代 1000円～	日曜日 13:30～	7/7 7/28 8/4 9/8 10/5 12/6 1/12 2/9
	花を 楽しむ	生け花やアレンジメントで お花に親しみ、家に飾りましょう。	10	戸上華道会	材料費 1000円～	土曜日 10:30～	6/8 7/6 8/3 8/21 10/4 11/30 1/18 2/8
	囲碁	基礎から学べる囲碁教室です	15	宮城 靖夫	テキスト 1500円	土曜日 13:30～	6/22 7/13 7/27 8/24 9/7 9/21 10/4 10/26 11/30 12/14
埴生 公民館	折り紙	なつかしい折り紙。少し大人っぽい作品 に挑戦しませんか。	15	青木百合子	折り紙 100円	土曜日 9:30～	6/15 8/10 12/7
	演劇	演劇にチャレンジ。新しい自分 を発見できるかも。	10	宮坂 康雄	なし	土曜日 10:30～	6/15 7/6 8/3 9/7 10/12 11/2 12/7 1/11 1/25
	レク ダンス	ゆったりとした動きのダンス。 誰でも簡単に踊れるよ。	20	酒井美代子	なし	土曜日 10:00～	7/6 7/20 8/2 8/24 9/14 9/21 10/19
八幡 公民館	茶道 ②	自分でお茶を点ててみましょう。 おいしいお菓子とお茶も楽しみ。	15	中川 詔子	抹茶・お菓子代 500円	土曜日 13:30～	6/8 7/2 8/3 9/14 10/5 11/2 12/7 1/11
	書道 ①	楷書、行書の基本の他、いろいろな 書に親しみましょう。	10	杉浦 静子	紙代 100円	土曜日 10:00～	6/8 7/13 8/10 9/21 10/12 11/2 12/7 1/18
屋代 公民館	書道 ②	楽しくいろいろな書を楽しみましょう。	10	近藤志津子	紙代 100円	土曜日 13:30～	6/15 7/6 8/3 9/7 10/5 11/2 12/21
稲荷山 公民館	クラフ ト織	紙テープを使って、かごやバッグを つくりましょう。	10	林 由枝	材料代 1000円～	日曜日 9:00～	6/9 7/7 8/25 9/15 10/20 12/15 1/19 2/9
更埴 図書館	読劇 鑑賞	本の好きな中学生、集まれ。読み聞かせ や読書会をしましょう。	5	小林いせ子	なし	土曜日 9:30～	6/15 7/12 8/3 9/13 10/12 11/2 1/18
根城 センター	パソ コン	プログラミングも学べるパソコンのス キルアップ教室です。	20	北沢 芳洋	なし	土曜日 9:30～	6/8 7/5 8/10 9/14 10/12 11/1 12/7 1/11

公民館で現在活動されている多くの講師の方が協力を申し出てくれました！ありがとうございます！



折り紙 埴生公民館



木彫り
戸倉創造館



クラフト細工
稲荷山公民館



書道
屋代公民館



パソコン
市総合教育
センター



一輪車
ことぶきアリーナ

子どもたちが集中して、一生懸命やる姿にびっくりしています。保護者の方にも活動を見て欲しいです。この子どもたちが、このクラブをきっかけに大人になっても続けて欲しいと願っています。
～総合文化専門部指導者の言葉～

「つどう・まなぶ・むすぶ」地域
(公民館)へ向けて、中学生の参加
を更に促したい！子どもたちの生
涯学習へつなげられれば！

吹奏楽専門部の様子から ~千曲市吹奏楽団との連携~

○指導者数 35名 内教職員10名（兼職等承認願い提出）
千曲市吹奏楽団25名

○部員数 87名 内訳 坂城中13名 戸倉上山田中24名
埴生中13名 西中24名 屋代中7名
屋代附属中6名

活動の様子



地元吹奏楽団(千曲市吹奏楽団)の全面的協力



人数が増えることで表現の幅が広がり、より良い音楽づくりができます。大人同士で協力できるのも心強いです。ただ、その分、指導方針のすり合わせや技術差へのフォロー、安全管理など、丁寧に整えていく必要も感じています。

～吹奏楽専門部指導者の言葉～

ミニコンサート開催



3月10日土曜日、信州の幸あんずホールで、千曲坂城クラブ吹奏楽専門部が一年間の活動の成果を発表するミニコンサートを開催しました。43名の生徒が参加し、指導者の皆さんと一緒に「アルセナール」「コヴィントン広場」「Get it on〜黒い炎〜」「銀河鉄道999」の4曲が演奏されました。迫力ある演奏が会場いっぱいに響き渡り、生徒たちの熱いエネルギーが伝わってくるものでした。月1回の活動でしたが、指導者になっていただいた千曲市吹奏楽団の方々のお力添えをいただき素晴らしい成果を得ることができました。本当にありがとうございました。新たな絆で 新たな歴史が刻まれたミニコンサートとなりました。 6.3.12 クラブだよりから



さざなみ音楽祭参加



9月16日に上山田文化会館で第38回さざなみ音楽祭が開催され、千曲坂城クラブ吹奏楽専門部が参加しました。指導者の千曲市吹奏楽団の皆さんと一緒に「アフリカン シンフォニー」「オーメンズ・オブ・ラブ」の2曲を演奏しました。今までの練習の成果を発揮し、迫力ある演奏となり、たくさんの拍手をいただきました。これからが楽しみです。

6.9.26 クラブだよりから



各専門部の様子から



バレーボール
男子 4校で1チームVC千曲
女子 4校で4チーム



卓球
活動は休日のみ
交流会の開催



軟式野球
3校で1チーム
2校で1チーム



バスケットボール
ベーシックコース
アドバンスコースの試行
5校混合のチームで大会参加



水泳
3校合同おばすてスイミングクラブ



ハンドボール
4校で男女各4チーム
今後、2校で2チームへ



剣道
クラブとして団体
戦に出場 4校



合唱
2校でNコン参加

各専門部で様々な取組の試行が進められている！

軟式野球専門部

更埴少年野球クラブ(令和3年4月発足)
二千曲坂城クラブ軟式野球専門部(令和5年3月発足)



○指導者数 39名 内教職員8名（兼職等承認願い提出）
内アドバイザー8名 公認指導者資格取得者9名

○部員数 59名 内訳 坂城中4名 戸倉上山田中21名
埴生中9名 西中9名 屋代中16名

○活動体制

更埴北クラブ 埴生中・屋代中・更埴西中
練習場所 火:各校 水:埴生中 金:屋代中 休日:更埴西中

更埴南クラブ 坂城中・戸倉上山田中
練習場所 火・木・金 休日 戸倉上山田中

休日 月4日～ 平日週3日～

※年度ごと人数に応じて検討

□年会費 3,000円(保険代800円含)

□月会費3,000円(1、2年10ヶ月・3年4ヶ月)

※更埴少年野球クラブ 入会費1,000円

大会参加費3,000円

□令和8年度千曲坂城クラブ予算から(クラブ予算の軟式野球専門部分)

指導者謝金2,270,000円 旅費228,000円

活動費158,000円 指導者保険42,000円



□中3部 中3の夏の中体連移行、高校
野球へのスムーズな接続を狙い、硬
式ボールで練習
高校のグラウンド借用

松川佐知子管理栄養士(クラブコンディショニング
サポートスタッフ)を招いて、「食とからだづく
り」について生徒・保護者・指導者合同で研修

増やそう
野球人口!
広げよう
友だちの輪!



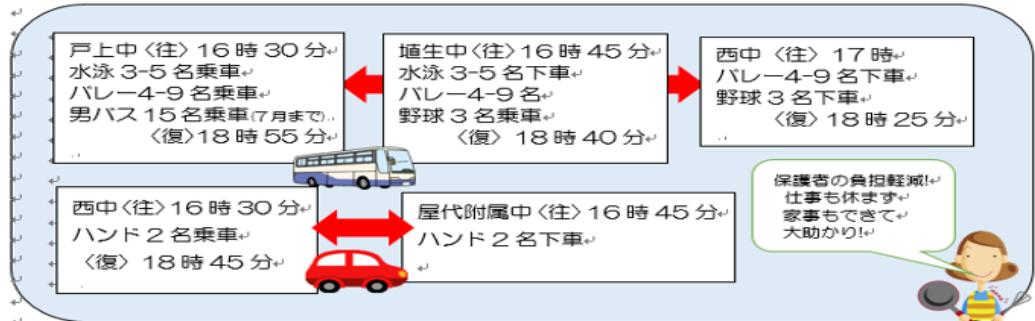
学校間移動の試行 前期 (4月～9月) ※令和5年度
 ～チームが成り立たない 指導者がいない～ 予算 1,800,000円

移動手段及び学校間移動ルート

- ルート1 タクシー 22日 ※7月県大会まで 5/9-7/20
 往路 更埴西中(16:30)～屋代附属中(16:45)
 復路 屋代附属中(18:30)～更埴西中(18:45)
 ルート2 マイクロバス 35日 ※11月まで 4/17-11/17
 往路 戸上中(16:30)～埴生中(16:45)～西中(17:00)
 復路 西中(18:25)～埴生中(18:40)～戸上中(18:55)



マイクロバス・タクシーに乗り込み
練習場所へ



後期 (10月～3月) からの試行 ※令和5年度

サッカー専門部 田每班4名⇔おおとり班 20回

軟式野球専門部 おおとり班2名⇔田每班 24回

バスケットボール専門部 田每班4名⇔つばさ班 22回

バレーボール専門部 田每班2名⇔つばさ班 26回

剣道専門部 田每班6名⇔大峰班 6回

学校間移動



タクシー利用

令和6年度 (4月～3月) ※予算2,500,000円

サッカー専門部 田每班4名⇔おおとり班 70回

軟式野球専門部 おおとり班2名⇔田每班 78回

バスケットボール専門部 田每班4名⇔つばさ班 24回

バレーボール専門部 田每班2名⇔つばさ班 58回

剣道専門部 田每班他⇔大峰班 20回 ※タクシー4台

軟式野球専門部 大峰班⇔つばさ班 40回
 バレーボール専門部 大峰班⇔つばさ班 40回

令和7年度実施
 バレボール専門部
 ソフトテニス専門部
 剣道専門部
 サッカー専門部
 軟式野球専門部
 水泳専門部

予算をどう確保するか

平日活動の様子～バスケットボール専門部つばさ班

帰りの学活が終わると、昇降口から下校し、社会体育館入り口から体育館に入ります。+

クラブ開始が17時なので、それまで体育館のギャラリーで学習に取り組みます。+

みんな真剣に学習に取り組んでいます。下校が早いときは、一旦帰宅しても、学校で学習に取り組んでもOKです。+



16時50分頃、合同で活動する田每班(更埴西中)がタクシーでやってきました。+

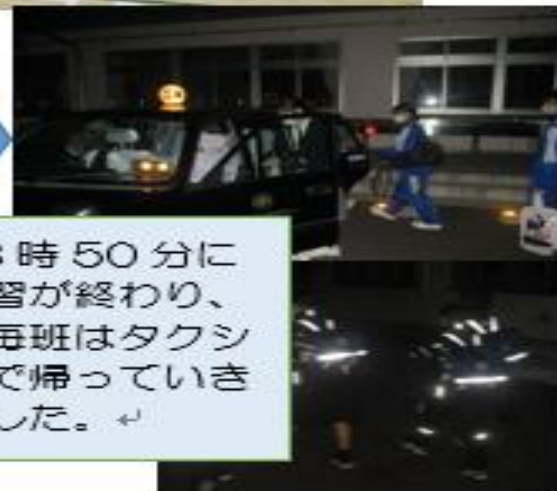
17時にクラブ練習が始まりました。+



基礎ドリルから実践練習まで中身の濃い練習でした。+

〈生徒の声から〉・活動時間が増えて嬉しい。(多数)・人数が多くなり試合に近い練習ができていい。・技術、体力ともにアップしてきた。・地域の指導者に教えてもらうのがいい。・お互いに交流できて嬉しい。・体育館が広く使えてよい。・大会に向けたいい練習ができた。・5時まで勉強できてわからないところは先輩に聞いて充実している。・送り迎えの親の負担が増えて心配。・帰りが暗くなり遅くなってしまふ。+

18時50分に練習が終わり、田每班はタクシーで帰っていきました。+



地域貢献活動

～感謝を込めて～

賛助会の法人・団体の皆様
千曲市・坂城町の福祉施設 計73箇所へ配布



来年度の干支にちなみ折り紙で「午」の色紙をつくり、届けています。各中学校で、クラブ員が心をこめて作成しました。毎年、実施していく予定です。



各専門部でできることをできるときに行う



皆さんに喜んでいただきました！



寄せられている声より

- より専門的な指導が受けられる環境になっていて、競技力を高められそう。
- 自分の学校に部活動がなくても、練習できる環境があってうれしい。
- 高いレベルを目指す人にとっては、向上心の高い人達と練習できるのでいい。
- 他校の人とも交流する機会が増え、良さに気づいたり、課題が明確になったりしていい。
- 移動が大変に感じる。●クラブに入っている人といない人がいてとまどいがある。



- 専門外の部活動を指導しなければいけない負担が減ってありがたい。
- 休日に部活動がないと家庭のことができてうれしい。
- 専門的な指導者とかかわれ勉強になる。
- 他校の生徒・指導者との交流は、よい刺激となる。
- 働き方改革が進むと思う。
- 生徒指導が心配。●平日がどうなっていくか心配。●クラブに参加しないと、生徒・保護者・地域からの評価が心配。





- より専門的な指導のできる指導者（県選抜のスタッフなど）が教えてくれるのでありがたい。
- 学校に部活動が設置されていなくても、クラブとして活動できる環境があっている。
- ライセンスの所持なども明記されているので学校外の活動でも安心できる。
- 学校間移動の交通手段を確保してもらいありがたい。今後も継続して欲しい。
- 練習場所の送迎には負担感がある。
- 今後、平日も含めどのようになっていくのか不安がある。



完全展開までのスケジュール

令和8年度完全展開
休日・平日すべてクラブとする

年度	R5	R6	R7	R8
文部科学省 方針	休日部活動の地域展開に向けた 改革推進期間 (段階的に地域展開)			改革実行期間 前期 ~ 令和10年度 後期 ~ 令和13年度
千曲坂城 クラブ	休日部活動 月1回以上 クラブ活動	 平日部活動も 可能な限り クラブ活動	休日部活動 はすべて クラブ活動 	部活動を廃止し、すべて千曲坂城クラブ活動とする

— 今後の課題 —

- ◆持続可能な運営にしていくために安定した財源をどう確保していくか。
※来年度から年会費3,000円(保険代800円含)+月会費最大3,000円(活動時間に応じて)
- ◆平日の活動場所への移動が必要な場合どうしていくか。
※活動場所の工夫 保護者送迎のお願い等
- ◆平日の指導者確保をどうしていくか。
※可能な限り放課後の時間帯に活動できるように
- ◆子どもたちの「居場所」としてのクラブのあり方はどうあったらよいか。 ※子ども食堂との連携試行
- ◆地域から愛されるクラブになるために、地域貢献活動をどう進めていくか。 ※クラブとして、各専門部ごと実施
- ◆クラブ事務局の負担をどう軽減していくか。

終わりに 心に留めていること・・・

どんな小さな町や村にいても必ずあるもの



千曲坂城クラブ

絆・コミュニティ・つながりづくり

人づくり・地域（まち）づくり

個人と社会のWell-beingの実現

私が私らしく生きられる社会へ



千曲坂城クラブのお問い合わせ

千曲市教育委員会教育総務課内
千曲坂城クラブ事務局

TEL 026-273-6120

Fax 026-273-8787

Mail kyoiku@city.chikuma.lg.jp

HP



千曲坂城クラブ
sites.google.com



Well-beingを実現しよう